

科目名 英語コミュニケーション I

普通科・理数科必修  
1年次 3単位

現代社会を捉えた題材で、言語の使用場面を考慮し、四技能五領域を総合的・統合的に学習する。また  
目標 コミュニケーションに必要となる、英語の基本的な表現力を身につけ、論理的思考力や批判的思考力を養うことをねらいとする。

位置 中学校3カ年で学んだことを基礎にして聞く・話す・読む・書くといった言語活動を多様な場面において経  
づ け 験しながら、学習内容を定着させていく。

■使用する教材

- ・Revised LANDMARK English Communication I
- ・必携英単語 LEAP
- ・ハンドアウト ほか

■学習する単元とおおよその時期

- L1 Unlock Your Potential (4月)
- L2 Curry Travels around the World (5月)
- L3 The Moon and Our Culture (6月)
- L4 Eco-Tour on Yakushima (7月)
- L5 Cacao Revolution (9月)
- L6 Communication without Words (9月)
- L7 Thank You, Bailey! (11月)
- L8 The Secret Life of a Gamer (11月)
- L9 Doctors Alone Cannot Do It (1月)
- L10 Friendship over Time (2月/3月)

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ・予習:教科書に関するハンドアウトを活用し、新出単語・熟語の定義、用例や、本文の概要を把握する。Writing に関してはテキストの問題に取り組む。
- ・授業:ハンドアウトを活用した理解、定着、本文に関連する意見を交流。Writing, Listening は、テキストの内容に関する理解、定着、活用。
- ・復習:学習した項目の定着、活用。



■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価基準	A	学習した知識や技能に関して、ほぼ正確に用いられる。	学習した事項の概念を理解し、状況に応じて活用し、論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みをして行える。
	B	学習した知識や技能に関して、ある程度、正確に用いられる。	学習した事項の概念を、状況に応じて活用し、ある程度、論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みで行う姿勢はある。
	C	上記が達成できていない。	上記が達成できていない。	上記が達成できていない。
評価の場面	単元テスト	単元テスト、パフォーマンス課題(エッセイライティングなど)	小テスト、授業中の参加態度や意欲	

単元テスト実施予定

- ① Lesson 1～2 6月
- ② Lesson 3～4 9月
- ③ Lesson 5～6 11月
- ④ Lesson 7～8 1月
- ⑤ Lesson 9～10 2月

■領域ごとの授業時間数について

単元名	L1 Unlock Your Potential	L2 Curry Travels around the World L3 The Moon and Our Culture	L4 Eco-Tour on Yakushima	L5 Cacao Revolution	L6 Communication without Words L7 Thank you, Bailey!	L8 The Secret Life of a Gamer	L9 Doctor Alone Cannot Do It	L10 Friendship over Time
聞く	2	4	2	3	4	3	3	3
読む	2	4	2	3	4	3	3	3
書く	2	4	2	3	4	3	3	3
話す（やりとり）	2		2		4		3	
話す（発表する）		4		3		3		3

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください